

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 31 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究（B）

研究期間 2009～2011

課題番号：21320019

研究課題名（和文）：オスマン朝期イスラーム思想研究－中世イスラーム思想の全体的解明を目指して

研究課題名（英文）：Islamic Thought during the Ottoman Period: Toward a General Understanding of Islamic Thought in the Middle Ages

研究代表者

東長 靖 (TONAGA YASUSHI)

京都大学・大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号：70217462

研究成果の概要（和文）：

本研究は、これまでほとんど研究されてこなかったオスマン朝期イスラーム思想を解明することを目指した。3年間にわたる共同研究により、スーフィズム、神学、論理学、歴史学、政治思想、近代思想の各分野を概説する書籍を編集し、刊行した。『オスマン朝思想文化研究』と題された本書は、上記各学問分野の概観と代表的思想家の説明に加え、その著作を対訳の形で含んでいる。ほかに、オスマン朝期イスラーム思想にとって中核となるスーフィズムについて、イブン・アラビー学派の文献目録、スーフィズム関連用語集などを作成・刊行した。

研究成果の概要（英文）：

This study aimed to clarify the Islamic thought during the Ottoman period, which had not been fully investigated. As the outcome of the joint research, we published a book explaining Sufism, theology, logics, history, political thought and modern thought in Ottoman period. The book entitled as *A Bio-bibliographical Introduction to the Intellectual History of the Ottoman Period* includes a general view of the aforementioned genres as well as a short explanation of representative thinkers with the original texts and their translations. We also published a catalogue for the printed books of the School of Ibn Arabi and glossaries on Sufism.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	4,500,000	1,350,000	5,850,000
2010年度	4,800,000	1,440,000	6,240,000
2011年度	3,200,000	960,000	4,160,000
年度			
年度			
総計	12,500,000	3,750,000	16,250,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・思想史

キーワード：オスマン朝・イスラーム思想・神秘主義・政治思想史・経済思想史

### 1. 研究開始当初の背景

中世イスラーム思想の分野で、サファヴィー朝期シーア派思想の研究が進んでいるのに対し、スンナ派イスラーム思想研究は立ち遅れている。この時期のスンナ派を代表する王朝であるオスマン朝の思想研究が必要とされているが、ほとんど手つかずの状態である。

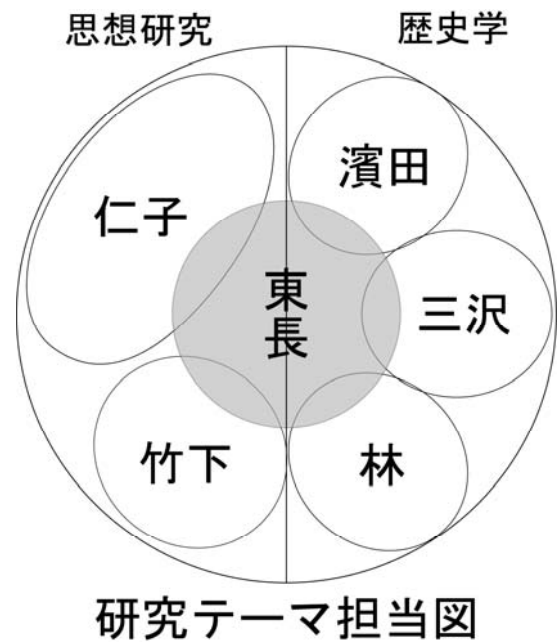
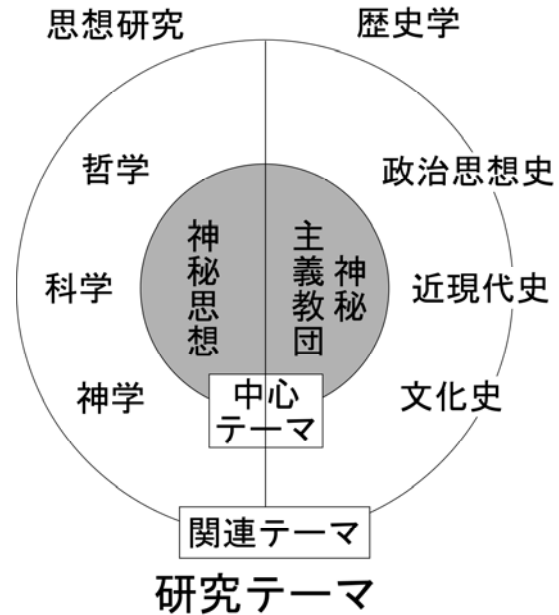
その中で、スーフィズム（イスラーム神秘思想）およびタリーカ（イスラーム神秘主義教団）に関する研究には、トルコ本国に若干の蓄積がある。また、オスマン朝の歴史研究そのものはさかんに行われてきており、この分野に関しては、日本をはじめ、世界中に豊富な研究蓄積がある。こういった歴史学の成果を取り込みつつ、思想研究と合体させることが必要である。

オスマン朝期のその他のイスラーム思想、たとえば哲学・神学などはほとんど手つかずの状態にあり、スンナ派では哲学が中世に衰退したという誤解が近年までまかり通ってきた。実際には連綿とした学問の系譜をたどることができるが、トルコ語によるごく入門的な著作が存在するのみで、その実態をうかがい知ることはできない。どういう思想家、著作が存在したのかという見取り図すら明らかでないというのが、研究の現状である。

### 2. 研究の目的

上述の未開拓の研究分野について、全体的な見取り図を提供することを、本研究の第一の目的とする。その際、研究代表者が主として取り組んでおり、研究も比較的進んでいるスーフィズム・タリーカ研究を中心テーマに据える。また、地域的にはオスマン朝の領土の中核部分であった小アジア（現在のトルコ共和国の版図）を中心に扱う。これら、テーマと地域における中心を設定したうえで、関連分野・関連地域にも目配りをし、オスマン朝期イスラーム思想の全体像の提示を目指す。

そのために、オスマン朝期イスラーム思想の全体を、次図のように分割したうえで、研究分担者がそれぞれのテーマを担当して、検討する。



### 3. 研究の方法

本研究は、歴史学者と思想研究者の共同研究として進める。歴史学からは、濱田正美が

政治思想を、林佳世子が文学の歴史学への応用を、三沢伸生が近現代思想を担当する。他方、思想研究からは、東長靖がスーフィズムを、竹下政孝が神学・論理学を、仁子寿晴が哲学・科学を担当する。連携研究者である今松泰は、スーフィズム研究を補助する。

研究は、各分野に関する個別研究を基礎としたうえで、その成果を持ち寄り、全員で検証して、オスマン朝期イスラーム思想の全体像を描くように努めた。

その過程で、近現代に関しては、イスラームにとらわれない思想が展開されることに注目すべきことが明らかとなってきた。そのことは、成果として公刊した書物のタイトルと章構成にも反映された。

#### 4. 研究成果

3年間にわたる共同研究の結果、これまでほとんど明らかにされてこなかったオスマン朝期の思想文化について、相当程度明らかにしえた。

この分野では、基礎データが不足していることが最大の問題点なので、今回の研究においても、基礎データを集積し、それを整理して公開することに意を用いた。

その代表的なものは、以下の通りである。

(1) 『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作』

本研究の最終成果として、オスマン朝期の思想文化のなるべく多くの側面を取り上げた概説的図書を刊行した。諸事情から、哲学・科学は採録することができなかったが、その代わりに論理学を取り込むことを得た。

本書においては、各分野の概説的情報（とくにレファレンス類の情報や先行研究の整理）を明らかにするとともに、代表的な思想家とその著作を取り上げ、詞華集の形で原典に直接触れることができるようにした。詞華集の部分は対訳の形をとり、専門家のみならず、この分野に関心を持つ後進たちが利用できるように工夫した。

(2) 『アラビア文字で引く スーフィズム・グロッサリー』『スーフィズム・タリカ・聖者信仰用語集 ローマ字順配列』

オスマン朝期思想文化の根幹をなすのは、スーフィズムである。そこでよく用いられる用語約600を集め、訳語を与えるとともに、簡潔な解説を付している。

(3) 『イブン・アラビー学派文献目録』

オスマン朝期スーフィズム思想は、イブン・アラビー（1240年没）の思想を中心として展開された。本書は、オスマン朝におけるイブン・アラビー学派に注目したうえで、サファヴィー朝やムガル朝、マレー世界などにも目配りをしたもので、合計約2,800点の著作のデータを提供している。

なお、本書を元に、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センターのホームページ上に、データベースのウェブページを開設している。

<http://kias.sakura.ne.jp/ibnarabi/index.php?title>

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計46件）

① 東長靖「概観」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, 1-17. 査読無。

② 東長靖「ダーウード・カイサリー『カイサリーの論攷』より「存在降下の諸段階と神的五次元」」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, 18-21. 査読無。

③ 東長靖「シャアラニー『宝石と宝玉』」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, 24-31. 査読無。

④ 東長靖「アブドゥッラー・ボスネヴィー「封印された宝物」」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, 30-33. 査読無。

⑤ 東長靖「ナーブルスィー『叡智の台座注釈』」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, 36-45. 査読無。

⑥ 東長靖「アブドゥルカーディル・ジャザイリー『諸階梯の書』より第211階梯」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, 44-55. 査読無。

⑦ 東長靖「ユースフ・ナブハーニー『聖者の奇蹟集成』より「アブー・アッバース・アフマド・ディジャーニー」」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, 54-57. 査読無。

⑧ 濱田正美「政治思想研究——スィヤーセト・ナーメ著作群」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, 107-123. 査読無。

⑨ 竹下政孝「イスラーム神秘主義における知の構造」『イスラーム哲学とキリスト教中世Ⅲ神秘哲学』2012, pp. 3-12. 査読無。

⑩ 竹下政孝「存在一性論における存在—クワンウィーとトゥーシーの往復書簡を中心として—」『イスラーム哲学とキリスト教中世Ⅲ神秘哲学』2012, pp. 113-139. 査読無。

⑪ 竹下政孝「ギリシア政治哲学のイスラーム政治哲学への影響—ファーラービーを中心にして—」『イスラーム哲学とキリスト教中世Ⅱ実践哲学』2012, pp. 1-17. 査読無。

⑫ 竹下政孝「論理学は普遍的か—アッバース朝期における論理学者と文法学者の論争—」『イスラーム哲学とキリスト教中世Ⅱ実践

哲学』2012, pp. 117-153. 査読無。

⑬竹下政孝「神学・論理学研究—オスマン朝における神学と論理学」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, pp. 61-76. 査読無。

⑭林佳世子「文学研究—オスマン詩を用いた社会史研究の可能性」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, pp. 77-105. 査読無。

⑮林佳世子「神々の世界から、一神教の世界へ—アナトリアのキリスト教化とイスラム化」大村幸弘・永田雄三・内藤正典編『トルコを知るための 53 章』(明石書店) 2012, pp. 78-85. 査読無。

⑯林佳世子「コンスタンティノープルの征服」大村幸弘・永田雄三・内藤正典編『トルコを知るための 53 章』(明石書店) 2012, pp. 86-91 査読無。

⑰林佳世子「「壮麗王」スレイマン 1 世が残したも—不動の帝国への礎」大村幸弘・永田雄三・内藤正典編『トルコを知るための 53 章』(明石書店) 2012, pp. 106-110. 査読無。

⑱林佳世子「華麗な宮廷文学の世界—イラン文化へのあこがれ」大村幸弘・永田雄三・内藤正典編『トルコを知るための 53 章』(明石書店) 2012, pp. 106-116. 査読無。

⑲三沢伸生・大澤広嗣「在日タタール人と日本の学界との接点」『アジア文化研究所研究年報』46 巻, 2012, pp. 327-354. 査読無。

⑳MISAWA Nobuo “The First Japanese who resided in the Ottoman Empire” *Mediterranean World*, XXI, 2012, 掲載決定済, 査読無。

㉑三沢伸生「近代思想研究—文献研究の指針」『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作—』2012, pp. 125-144. 査読無。

㉒東長靖「民間信仰としてのスーフィズム—聖者信仰をめぐって」小林春夫ほか編『イスラームにおける知の構造と変容—思想史・科学史・社会史的視点から』早稲田大学イスラーム地域研究拠点, 2011 年 3 月, 285-306 頁。

㉓東長靖「クシャイリー『クシャイリーの論攷』より「聖者の奇蹟」章 解題・翻訳ならびに訳注」(スーフィズム・アンソロジー・シリーズ 4)『イスラーム世界研究』4 巻 1/2 号 (2011 年 3 月), 551-553 頁。

㉔濱田正美 “Le Coran chez Tursun Beg” *Eurasian Studies*, VIII/1-2, 2011, pp. 107-117. 査読有。

㉕竹下政孝「ハサン・バスリーとイスラーム思想の起源」『中東協力センターニュース』35 巻 5 号, 2011, pp. 82-87. 査読無。

㉖竹下政孝「イスラームの聖者ラービア・アダウィーヤ」『中東協力センターニュース』36 巻 3 号, 2011, pp. 43-48. 査読無。

㉗林佳世子「歴史的都市「イスタンブル」」『朝倉世界地理講座 6 西アジア』2011, pp. 99-102. 査読無。

㉘三沢伸生「戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動 (5)」『東洋大学アジア文化研究所研究年報』45 巻, 2011, pp. 171-180. 査読無。

㉙駒井義昭・石井隆憲・三沢伸生「在日トルコ (タタール) 系イスラーム教徒に関連する視覚史料のデータベース化事業」『東洋大学アジア文化研究所研究年報』45 巻, 2011, pp. 171-180. 査読無。

㉚MISAWA Nobuo “Shintoism and Islam in Interwar Japan: How did the Japanese come to believe in Islam ?” *Orient* 46, 2011, pp. 73-117. 査読有。

㉛仁子寿晴・小林春夫「イブン・スィーナ著『治癒』形而上学訳注 (第一巻第一章および第二章)」『イスラーム地域研究ジャーナル』3 巻, 2011, pp. 73-117. 査読無。

㉜仁子寿晴「イブン・スィーナ『治癒の書』形而上学の構造——最高概念の把握と学問構造——」小林春夫・阿久津正幸・仁子寿晴・野元晋編『イスラームにおける知の構造と変容——思想史・科学史・社会史の観点から——』共同利用・共同研究拠点 イスラーム地域研究拠点早稲田大学イスラーム地域研究機構, 2011, pp. 93-111. 査読無。

㉝竹下政孝「クーナウィーにおける階梯と存在の二つの階層」『東洋学術研究』49 巻 2 号, 2010, p. 77-104. 査読無。

㉞東長靖 “‘Ambiguity in Context’ according to Islamic Thought: Bridging Theory and Actuality around the Saints in Islam.” *International Workshop, “Pilgrimage and Sanctuaries: Ambiguity in Context,”* (2010 年 11 月 11-13 日、於: Monte Verità, Ascona, Switzerland) におけるフルペーパー, pp. 1-10.

㉟東長靖「スーフィー教団の革新と再生」小杉泰編『イスラームの歴史 2 イスラームの拡大と変容』山川出版社, 2010 年 10 月, 62-91

頁。

③⑥東長靖「スーフィズムの成立と発展」佐藤次高編『イスラームの歴史 1 イスラームの創始と展開』山川出版社、2010年6月、155-195頁。

③⑦東長靖「イスラームにおける神秘主義と聖者信仰—スーフィズムの包括的理解の試み—」京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科に提出した博士号（地域研究）請求論文、2010年6月提出。（2010年11月博士（地域研究）号取得）

③⑧東長靖「クシャイリー『クシャイリーの論攷』より「スーフィー列伝」解題・翻訳ならびに訳注」（スーフィズム・アンソロジー・シリーズ 3）『イスラーム世界研究』3巻2号（2010年3月）、406-415頁。

③⑨竹下政孝「クーナウィーにおける階梯と存在の二つの階層」『東洋学術研究』49巻2号、2010、pp. 77-104.

④⑩TAKESHITA Masataka “Shams-e Tabrizi and the Philosophers” *Şems: Güneşle Aydınlananlar*, 2010, pp. 197-229. 査読無。

④⑪東長靖「クシャイリー『クシャイリーの論攷』より「スーフィー列伝」解題・翻訳ならびに訳注」『イスラーム世界研究』3巻2号、2010、pp. 406-415. 査読無。

④⑫竹下政孝「神の友、アブラハムの物語」『中東協力センターニュース』34巻6号、2010、pp. 71-78.

④⑬林佳世子「オスマン朝の建国」『世界史史料2南アジア・イスラーム世界・アフリカ』2009、pp. 228-230. 査読無。

④⑭林佳世子「ヨーロッパ人の見たオスマン朝」『世界史史料2南アジア・イスラーム世界・アフリカ』2009、pp. 245-246. 査読無。

④⑮林佳世子「宗教的寄進のためのワクフ文書」『世界史史料2南アジア・イスラーム世界・アフリカ』2009、pp. 261-262. 査読無。

④⑯仁子寿晴「中国思想とイスラーム思想の境界線—劉智の「有」論—」『アジア遊学』129巻、2009、pp. 61-79. 査読無。

〔学会発表〕（計11件）

①三沢伸生 「アジア主義とイスラーム主義の交錯」国際シンポジウム「戦前日本の対回教圏政策とトルコ」, 2012/1/28, 東京外国語大学.

②三沢伸生「内藤智秀とイスラーム」日本中東学会公開講演会「庄内からイスラームを考える」2011/11/12, 山形県酒田市総合文化セ

ンター.

③仁子寿晴「哲学史の形成—イスラーム思想史の一断面—」同志社大学神学部公開講演会, 2011/7/30, 同志社大学今出川キャンパス神学館3階チャペル.

④TONAGA Yasushi “The Development of Tarekat and Sufism in Islamic World” Multaqa al-Shufi al-Alamy Conference, 15 - 18 July 2011, Jakarta.

⑤東長靖「イスラーム神秘主義研究の魅力と未来」平成23年度 神戸大学イスラーム地域研究会（KOBÉ-IAS）第2回研究会, 2011/6/28, 神戸大学.

⑥仁子寿晴「イブン・スィーナー『治癒』形而上学—最高概念の把握と学問構造」イスラーム地域研究共同利用・共同研究拠点ワークショップ「イブン・スィーナー『治癒の書』を巡る比較思想史」2010年11月20日, 早稲田大学.

⑦TONAGA Yasushi “Ambiguity in Context’ according to Islamic Thought: Bridging Theory and Actuality around the Saints in Islam.” International Workshop, “Pilgrimage and Sanctuaries: Ambiguity in Context” 2010年11月13日 Monte Verità, Ascona, Switzerland.

⑧MISAWA Nobuo “Birinci Dunya Savasi’ndan Sonraki Turkiye-Japonya İlişkileri” (=第一次世界大戦後の日本・トルコ関係), XVI. Turk Tarih Kongresi, 2010/09/20, アンカラ, トルコ共和国.

⑨MISAWA Nobuo “Shintoism and Islam in Interwar Japan”, WOCMES, 2010/07/20, バルセロナ, スペイン.

⑩竹下政孝 “Shams-e Tabrizi and the Philosophers” International Symposium on Shams-e Tabrizi, 2009年12月12日, Istanbul, Turkey.

⑪仁子寿晴「初期イスラーム哲学における二つの形而上学—哲学構築と発出論の論理構成—」東洋史研究大会, 2009年11月3日, 京都大学文学部.

〔図書〕（計11件）

①東長靖（編）『オスマン朝思想文化研究—思想家と著作』京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センター, 2012, x+144+xxxiv.

②竹下政孝・山内志朗（編）『イスラーム哲学とキリスト教中世 III 神秘哲学』岩波書店, 2012, 357.

③竹下政孝・山内志朗（編）『イスラーム哲学とキリスト教中世 II 実践哲学』岩波書店, 2012, 267.

④林佳世子・篁日向子（編）『現代トルコ文学選 II』岩波書店, 2012. 265.

⑤ Nobuo MISAWA (ed.) *Tatar Exiles and Japan*, Asian Cultures Research Institute, Toyo University, 2012, iv+48.

⑥ 東長靖 (監修) 『スーフィー—イスラームの神秘主義者たち (「知の再発見」双書 152)』創元社, 2011, 144.

⑦ 竹下政孝・山内志朗 (編) 『イスラーム哲学とキリスト教中世 I 理論哲学』岩波書店, 2011, 303.

⑧ 東長靖 (編著) 『スーフイズム・タリーカ・聖者信仰用語集 ローマ字順配列』京都大学イスラーム地域研究センター, 2011, 90+vi.

⑨ 東長靖 (編著) 『アラビア文字で引く スーフイズム・グロッサリー』京都大学東南アジア研究所グローバル COE プログラム, 2011, 88+vii.

⑩ 小林春夫・阿久津正幸・仁子寿晴・野元晋 (編) 『イスラームにおける知の構造と変容—思想史・科学史・社会史の観点から—』共同利用・共同研究拠点 イスラーム地域研究拠点早稲田大学イスラーム地域研究機構, 2011, 390.

⑪ 東長靖・中西竜也 『イブン・アラビー学派文献目録』京都大学イスラーム地域研究センター, 2010, 437.

[その他]

ホームページ等

<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/asia/rekan/tonaga/index.html>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

東長 靖 (TONAGA YASUSHI)

京都大学・大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号：70217462

### (2) 研究分担者

濱田 正美 (HAMADA MASAMI)

龍谷大学・文学部・教授

研究者番号：30109061

竹下 政孝 (TAKESHITA MASATAKA)

東京大学・人文社会系研究科・教授

研究者番号：30163398

林 佳世子 (HAYASHI KAYOKO)

東京外国語大学・外国語学部・教授

研究者番号：30208615

三沢 伸生 (MISAWA NOBUO)

東洋大学・社会学部・教授

研究者番号：80328640

仁子 寿晴 (NIGO TOSHIHARU)

京都大学・大学院アジア・アフリカ地域研究研究・特任准教授

研究者番号：10376519